

大東アーカイブス 第13回 企画展

—卒業アルバムに見る学生生活—

展示期間：平成24年10月30日(火)～平成25年3月29日(金)

(開室時間 毎週月～金曜日 9:00～17:00)

展示場所：大東文化歴史資料館 展示室(板橋校舎2号館1階)

大東文化歴史資料館展示室では、現在、第13回企画展「卒業アルバムに見る学生生活」を開催しています。

学生自治会によって刊行されている卒業アルバムは、学生たちの歴史をそのままに語る貴重な資料です。校舎建物の変遷など時代の移りかわりが具体的に見られる一方で、部活動やサークルで活発に活動する姿、ゼミや授業、図書館で熱心に勉強し討論する姿など、いつの時代も変わらない生き生きとした学生らしい風景がそこかしこに見られます。また卒業アルバムの中にも箱根駅伝をはじめとした体育競技での活躍が多く目につきのも大東らしい特徴かもしれません。

ただ、卒業アルバムがいつから刊行されたのか、はっきりとしたことはわかっていません。各年度に学生たちが自主的に製作してきたものであったため、体系的な記録が残されてきませんでした。

これまでアーカイブスに寄贈されたものからは、戦前の大東文化学院時代にも卒業アルバムが製作されていたことがわかっています。創設直後のごく初期の頃は卒業写真撮影のみの時期が続きましたが、昭和10年代前半から半ばにかけては卒業アルバムを作成した年があったようです。戦中戦後の苦しい時代を経て、新制大学になってからは再び卒業アルバムの制作が行われたと思われますが、昭和20年代から30年代初期のものは学内に残されておらず、昭和34年度卒のアルバムが学内で確認できる最古のものになります。その後も昭和40年代までのものは、学内にほとんど残されていません。

そのような事情から、現在、大東アーカイブスでは卒業アルバムの寄贈をお願いしております。特に昭和27年度卒～昭和49年度卒までの現物がほとんどないため、ご寄贈いただけますと大変ありがたい状況です。

今回の企画展では、希少な戦前の大東文化学院卒業アルバムの公開をはじめとして、卒業アルバムの中に見られる各時代の「学生生活」を垣間見ていただけます。多くの方にご高覧いただければ幸いです。



(歴史資料館運営委員 浅沼薫奈)